平成30年度秋季NACCS地区協議会資料

私たちは、お客様と共に歩み、 「人・物・国」をつなぐNACCSを通じて、 国際物流の発展に貢献します。

平成30年11月~12月

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社



I. NACCSセンターからのお知らせ事項

1	プログラム変更について・・・・・・・・・・ P 2
	(1)2018年度プログラム変更について・・・・・・・P3
	(2)2019年度プログラム変更要望について・・・・・・P9
2	第6次NACCS中年度更改について・・・・・・・ P10
3	NACCS回線の見直しについて・・・・・・・・ P20
4	大型連休に伴うデータ保存期間の対応について・・・・・・ P25
5	ヘルプデスクの満足度調査結果について・・・・・・・ P27
6	Windows7サポート終了に伴う対応について・・・・・・ P30
7	リアルタイム口座振替サービスの休止について・・・・・・ P33

Ⅱ. 意見交換(別冊)



2018年度プログラム変更について

- ・プログラム変更実施状況
- ◆今後、2018年12月~2019年3月末までに民要望案件7件、緊急プログラム変更案件6件、税関案件5件、 関係省庁案件4件を実施予定
 - ※2018年4月~11月現在、情報処理運営協議会提出民要望案件4件、関係省庁案件5件を実施
- (a) 情報処理運営協議会提出民要望案件(7件)
- (b) 緊急プログラム変更案件(6件)
- (c) 税関案件(5件)
- (d) 関係省庁案件(4件)



(a) 情報処理運営協議会提出民要望案件(今後実施する2018年度プログラム変更案件)

No	ご要望内容	変 更 内 容	自社システ ムへの影響	リリース時期(予定)
1	蔵入(IS)、移入(IM)の対象貨物の到着確認については、税関官署へ報告後、税関が「蔵入・移入・総保入・展示貨物到着確認 (CAS)」業務を行っているが、民間において確認登録ができるよう にして欲しい。	民間において確認登録が可能となるよう、「蔵入等航空貨物到着確認(BAS)」業務(CAS相当の新規業務)を新設する。	無	2018年12月20日
2	航空貨物取扱IS(蔵入)貨物搬入登録を税関官署へ依頼後、「貨物情報 照会(IAW)」業務で照会した際、依頼者側でもCAS業務の履歴が見 れるようにして欲しい。	IAW業務において、CAS業務の実施履歴を照会可能とする。	無	2018年12月20日
3	航空の保税運送申告において、税関による承認が行われた場合の出力情報は、入力者のみに出力されているが、出力情報を入力者以外の発送地、到着地の保税蔵置場にも出力先として設定可能となるように変更して欲しい。	「保税運送申告(一般) (OLT01)」業務等において、発送地 (GOL業務を除く)及び到着地宛に承認情報と同等のEXC型帳票 を出力するとともに、承認後の訂正、取消についても出力対象と する。なお、当該出力要否を保税地域単位に設定可能となるよう、 「保税地域関連情報登録(UBA)」業務に設定項目の追加を行う。	無	2018年12月20日
4	管理資料「航空輸出貨物搬出データ(S14)」に関して、カルネ通関等で税関が「許可・承認等情報登録(輸出通関)(PAE)」業務で登録を行った実績が反映されていないため、これを反映するように変更して欲しい。	PAE業務及び「許可・承認等情報登録(監視)(PAK)」業務でマニュアル許可登録を行った実績について、管理資料S14の収集対象となるよう変更する。	無	2018年12月20日
5	輸出貨物を保税蔵置場間で移動させる場合、移動元の保税蔵置場で 「搬出確認登録(輸出許可済)(BOC)」業務が行われないと、搬入 先蔵置場で貨物情報の照会を行うことができない。「輸出貨物情報登 録(ECR)」業務でバンニング場所(蔵置コード)の登録が行われて いるので、BOC業務未実施であっても貨物情報の照会を可能として欲 しい。	ECR業務において「経由地」が登録されている場合、当該経由地の保税蔵置場であれば、BOC業務実施前であっても、「貨物情報照会(ICG)」業務による照会を可能とする。	無	2018年12月20日
6	「入港前統一申請〈内航〉(WPT)」業務の申請等呼出で危険物情報 等を読み込む機能を追加して欲しい。	申請等呼出について、乗組員・旅客・危険物情報を入力・申請し た場合は呼び出しを可能とする。	無	2019年2月26日
7	搬出元において「搬出確認登録(輸出許可済)(BOC)」業務後に取消が 行われた場合、搬出先にNACCSから出力される情報は、搬出番号と輸 出管理番号だけとなっているが、本船名、ブッキング番号も出力して 欲しい。	BOC業務後に取消が行われた場合に出力する「搬出取消通知情報(SAT012)」に、本船名、ブッキング番号を追加する変更を実施する。	有	2019年3月17日

(b) 緊急プログラム変更案件(今後実施する2018年度プログラム変更案件)

No	ご 要 望 内 容	変 更 内 容	自社システ ムへの影響	リリース時期(予定)
1	包括保険関連業務において、輸入者用として提供している管理資料 「I57 包括保険使用実績データ」の項目のうち「インボイス番号」の 出力条件は「ダブルコーテーション付加対象項目」となっていない。 (輸入申告でインボイス番号が複数ある場合、カンマで区切るケース がある。カンマ区切りのままで管理資料に出力した場合、自社システ ムに取込みを行う際にレイアウト崩れが発生する。)	「インボイス番号」にカンマがあってもレイアウト崩れが発生しないよう、当該項目をダブルコーテーションで括ることを可能とする変更を実施する(インボイス番号については、出力条件を「ダブルコーテーション付加対象項目」とする)。	有	2018年12月20日
2	パッケージソフトのOSチェック機能は、ある特定OSのバージョン未満かどうかでしかチェックを行っておらず、Windows 7 等のサポート切れに対応できない。	個別のOSごとの利用可否及び特定OS内のビルド番号による利用可否を設定可能とし、猶予期間中に出力される警告メッセージの出力開始日及び出力間隔を設定可能とする。また、警告メッセージの変更及びエラーメッセージの新規追加を行う。	無	2018年12月20日
3	現在、利用者設定業務「メール型宛先管理登録(UOM)」業務、「メール型宛先管理登録呼出し(UOM11)」業務及び「メール型宛先管理照会(UOM01)」業務については、ログインID(8桁)と入力する利用者ID(8桁)が一致しないとエラーとなり、業務が実施できないため、利用者の利便性を損なっている。	UOM業務、UOM11業務及びUOM01業務の入力条件において、同一利用者コード(5桁)であれば設定変更を可能とする変更を実施する。	無	2018年12月20日
4	WebNACCSでは、申請情報や乗組員情報等を外部ファイルとして保存可能であるが、情報毎に個別保存となっているため、利用者側で各情報の関連付け作業が必要となっている。当該関連付け作業は煩雑であり、また、この関連付け作業を行わない場合、繰り返して利用する際(再利用)に容易に利用することが出来ない状況となっている。	申請情報等を外部ファイル保存する際に、申請情報及び関連付く 乗組員情報等について一括(ZIPファイル)で保存をできるように する。 また、アップロードの際も一括(ZIPファイル)でアップロードで きるようにする。	無	2019年2月26日
5	通関業者は、通関業法基本通達上、食品等輸入届業務の件数等を「通 関業務取扱明細簿」に計上することが求められているが、現状では、 計上に必要な情報の基礎となるような管理資料がNACCSに存在してい ない。 また、管理資料が存在しないため、現在は食品等輸入届書をコピー等 の上、紙で保存している状況にある。	NACCSを利用して行なわれた食品等輸入届業務の件数等の把握が可能となるような新規管理資料を提供する。	無	2019年3月17日

(b) 緊急プログラム変更案件(今後実施する2018年度プログラム変更案件)

No	ご 要 望 内 容	変 更 内 容	自社システ ムへの影響	リリース時期(予定)
6	「貨物情報仕分け(CHJ)」業務において、グロスウエイト(総重量)とネットウエイト(ネット重量)双方が入力されている貨物情報を分割する際、グロスウエイトは分割入力出来るがネットウエイトに関しては入力欄がないので分割出来ない。このため、分割後に照会を行うとネットウエイトの方がグロスウエイトより大きくなるという不具合がある。	類似業務である「貨物取扱登録(改装・仕分)(SHS)」業務同様、仕分け実施後はネット重量をブランクとする仕様とする。 なお、同様の事象となっているSHS業務における「改装」、「内取り」についても仕様変更対象とする。	無	2019年3月17日

(c) 税関案件(今後実施する2018年度プログラム変更案件)

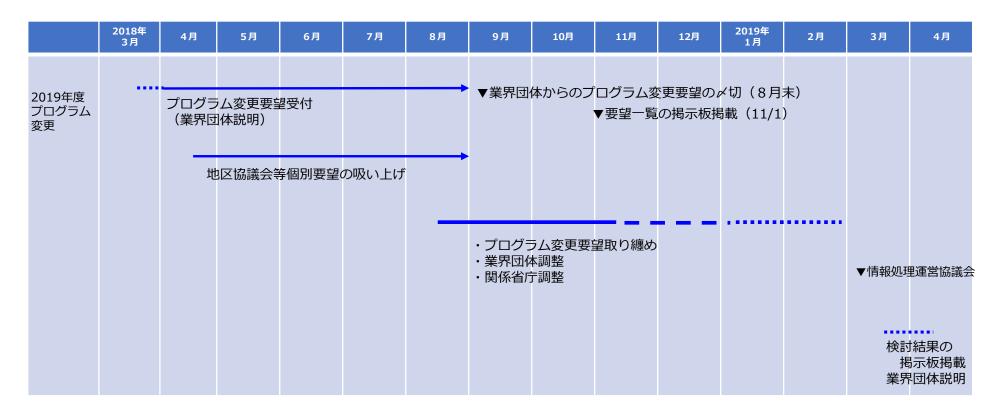
No	案 件 名	変 更 内 容	自社システ ムへの影響	リリース時期(予定)
1	執務時間外業務の対応(申告官署の自由化導入に伴う機能変更)	届出時間帯(時間外対応を求める時間帯)が申告先官署(届出先官署)の執務時間内であっても「時間外執務要請届(OSA)」業務を実施できるように変更する。 例)大井出張所管轄の蔵置場に貨物が蔵置、申告は東京本関(24H官署)の場合、大井で時間外に検査が必要となった場合、申告先の東京本関に時間外要請を提出すると本関は24H官署のため、現状ではエラーとなっている。	無	2018年12月20日
2	国際観光旅客税対応	2019年1月7日から導入される国際観光旅客税の対応のため業務仕 様を変更する。	無	2018年12月20日
3	入出港の出力帳票に係る仕様変更	①関税法17条の2の改正に伴い、帳票「出港許可(転錨届受理) 通知情報」の記載内容修正(プログラム変更までは読み替えで対 応) ②関税法施行令13条第2項、同14条第3項、同18条の2第3項の 改正に伴い、帳票「旅客氏名表報告確認情報」「乗組員氏名表報 告確認情報」の出力項目(到着/出発日時)を修正し、到着予定 日時ではなく出港した日時とする。	無	①2019年2月26日 ②2019年3月17日
4	資格外変船舶の「許可・承認等情報登録(監視)(PAK01)」業務に係る 仕様変更	PAK01業務において、新しい処理区分(X:強制解除)をもうける。 X:強制解除の場合は、資格変更の港情報のチェックを行わないよ うにし、PAK01業務でのとん税の納付を可能とする。	無	2019年3月17日
5	輸出入申告におけるあて先部門コード払出しの仕様変更	輸出入申告における「あて先部門」及び「蔵置税関部門」について、「自由化申告」(※)であることを条件とする部門コードの払出し機能を追加する。 ※申告官署にて通関担当部門による貨物確認を実施する「横持申告」を含む。	無	2019年3月17日

(d) 関係省庁案件(今後実施する2018年度プログラム変更案件)

No	案 件 名	変 更 内 容	所管省庁	自社システ ムへの影響	リリース時期(予定)
1	事前確認(まぐろ)の業務移管対応	まぐろの事前確認申請について、経済産業省から水産庁へ業務を移管したことに伴い、申請宛先に水産庁を追加するとともに、申請様式を変更する。	水産庁	無	2018年12月予定
2	植物検査合格証明書発行年月日出力値等の変更について	植物検査合格証明書の発行年月日及び検査又は消毒年月日欄の取得 元を変更して出力する。	植物防疫所	無	2019年3月予定
3	申請者届出の電子化	申請者届出の情報を、申請者が自ら登録・変更できるようにするため、NACCS業務を新規追加する。	経済産業省	無	2019年3月予定
4	事前確認(オゾン)の様式追加	「オゾン」の輸入にかかる事前確認について、システムでの申請を 可能とするため、申請様式を新規追加し、それに伴う各種処理機能 等を追加する。	経済産業省	無	2019年3月予定

(e) 2019年度プログラム変更要望について

- 関係業界団体様及び個別のお客様から提出された2019年度プログラム変更要望は199件
 - ▶ 2018年11月1日に提出された要望をNACCS掲示板で公表
 - ▶ 今後、ご要望内容の精査、税関等関係省庁及び関係業界団体等の関係者との間で調整・検討を行い、プログラム変更案件を選定
 - ▶ 第11回情報処理運営協議会において選定されたプログラム変更の実施について諮問の上、決定
 - ▶ 2019年3月下旬から4月上旬にNACCS掲示板で実施案件の公表
 - ※ご要望内容の重複を集約した数字であり、実際のご要望数は230件



■ 概 要

第6次NACCSは2017年(平成29年)10月に稼働しましたが、8年間のシステムライフにおいて中年度にあたる2021年10月頃にハードウェアの全面更新を行うこととしています。弊社ではこのイベントを「中年度更改」と称していますが、今回の中年度更改は、当社としてこれまで経験のない作業となります。また、データ移行に伴うシステム停止や自社システム利用者様との事前の接続試験等、利用者様の業務処理にも影響を与えることとなります。このため、本年9月末に、第6次NACCS更改専門部会等の元委員の皆様にお集りいただき、中年度更改に向けた課題等について意見交換会を開催いたしました。

■これまでの周知内容

中年度更改については、第6次NACCSの更改専門部会(更改ワーキンググループ)及び業務仕様等説明会において、以下のとおり説明を行っています。

-以下、第6次NACCS更改時、第16回更改WG資料から抜粋-

【中年度更改の実施について】

第6次NACCSにおいては、システムライフサイクルの中年度(システム稼働の4年後)に、ハードウェア一式の更改を予定している。

【中年度更改時における利用者様への影響】

中年度更改においては、システムのハードウェア一式を全て交換することから、一定の移行時間(システム停止時間)が発生する。

【中年度更改の時期】

第6次NACCSにおける中年度更改の時期は2021年10月を予定している。

【中年度更改における移行時間】

中年度更改における移行時間は、「第5次NACCSから第6次NACCSへの更改時と同程度の移行時間」を想定しており、最大5時間程度とすることを目標とする。

■中年度更改における利用者様への影響

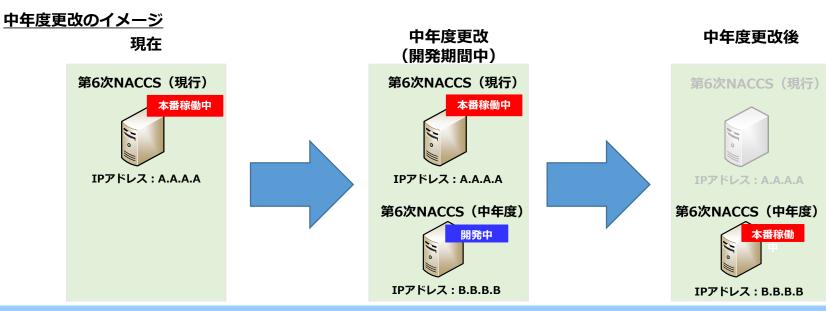
中年度更改における利用者様への影響等として、以下を課題として考えています。

- 1. IPアドレス変更に伴う自社システムとの接続試験、ネットワーク環境の設定変更等
- 2. データ移行に伴うシステムの長時間停止と更改時期の検討
- 3. 中年度更改作業中におけるプログラム変更要望への対応

■中年度更改の考え方

中年度更改のイメージは下図のとおりとなりますが、基本的には、第6次NACCSの安定稼働及び品質確保を最優先とするため、大きく以下3点を前提条件として実施する予定です。

- 1. 中年度更改は、ハードウェア更改を中心とし、大幅なプログラム変更は行わない。
- 2. 中年度更改は、現行システムへ極力影響を与えないよう、新たに中年度環境を構築し、現行環境とは別の環境で開発を行う。
- 3. 中年度更改は、新たな中年度環境を構築し開発を進めるため、現行環境(第6次NACCS)とは異なるIPアドレスを付与する。





前記のとおり、中年度更改においては、IPアドレスの変更を実施いたしますので、現在、ご利用の接続処理方式によっては、中年度更改前に事前の接続試験(導通確認)をお願いしたいと考えています。

各接続処理方式における中年度更改に伴う接続試験の実施必要有無については、下表^{※1}でまとめておりますが、接続試験をお願いする利用者様につきましては、今後、具体的な接続試験方法の詳細をご案内させていただきます。

※1:プログラム変更は実施しない前提での内容となります。

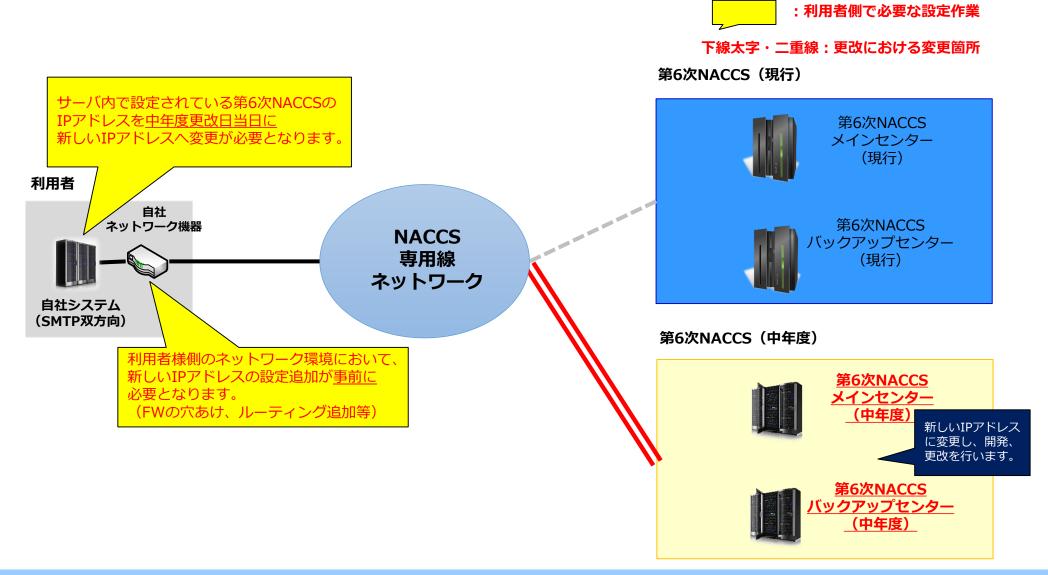
No	接続処理方式	ネットワーク経路	接続試験実施 必要有無	接続試験実施 必要有無の理由
1	パッケージソフト (インタラクティブ)	NACCS専用線 ネットワーク	不要	第6次NACCSのサーバのIPアドレスを意識しないため、不要です。
2	SMTP/POP3 (自社システム)	NACCS専用線 ネットワーク	不要	
3	SMTP/POP3(EDIFACT) (自社システム)	NACCS専用線 ネットワーク	不要	
4	SMTP双方向 (自社システム)	NACCS専用線 ネットワーク	必要	中年度更改により、SMTP双方向サーバのIPアドレスが変更となるため、 利用者様側の環境にて接続先IPアドレスの追加や変更を行っていただいた上で、接続試験をお願いしたいと考えております。 詳細については次頁をご参照ください。
5	パッケージソフト (netNACCS)	インターネット	不要	インターネット経由のため不要です。
6	WebNACCS	インターネット	不要	
7	ebMS (自社システム)	インターネット	必要	ebMSサーバで使用している製品のバージョンアップに伴い、 安定稼働および品質担保の観点から、接続試験のご協力をお 願いしたいと考えております。 詳細については次頁をご参照ください。

中年度更改に伴い、利用者様へお願いしたい事項は以下のとおりとなります。

No	対象のお客様	お願い事項	内容
1	SMTP双方向処理方式 をご利用中の自社シス テムのお客様	自社ネットワークの設定追加作業	第6次NACCSのサーバのIPアドレス変更に伴い、必要に応じて自社ネットワークから新たなIPアドレスへの接続設定を接続試験実施時期までに事前に実施をお願いいたします。 (例:FWの穴あけ、ルーティング追加等)
2		自社システムの設定変更作業 ※SMTP双方向にてNACCSのDNSを 利用せず、NACCS側SMTP双方向 サーバのIPアドレスを直接指定し、 接続されている自社システムのお客 様が対象となります。	第6次NACCSのサーバのIPアドレス変更に伴い、サーバ内で設定されている第6次NACCSのIPアドレスを中年度更改日当日に新しいIPアドレスへ変更をお願いいたします。
3	ebMS処理方式をご利用の一部のお客様 ※対象のお客様には個別で接続試験の協力依頼をさせて頂きます。	接続試験のご協力	第6次NACCSの中年度更改に伴い、ebMSサーバで使用している製品のバージョンアップが見込まれるため、安定稼働および品質担保の観点から事前に接続試験にて導通確認のご協力をお願いしたいと考えております。

例:SMTP双方向利用者様への影響範囲

■ IPアドレスの変更等に伴い、SMTP双方向処理方式をご利用の皆様には以下の影響が発生します。

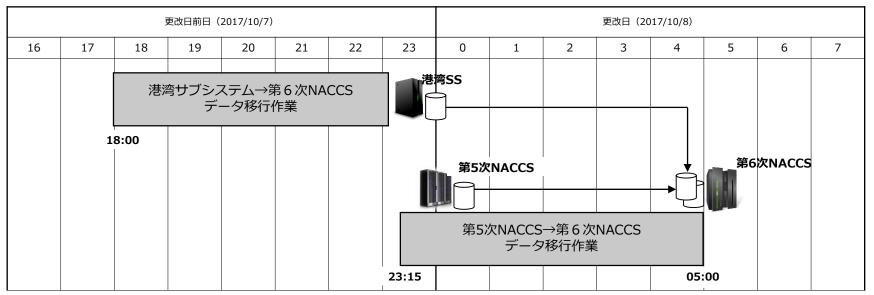


中年度更改に向けて、保守日の追加や更改当日における移行作業に伴うシステム停止時間について検討を行っています。

No	課題	in the second of the second o
1	保守日の追加について	第6次NACCSの定期保守については、2ヵ月に一回、奇数月に実施していますが、事前の内部試験等の実施に伴い、中年度更改の半年程度前から保守日を毎月設けさせていただく可能性があります。 実際に保守日の追加等を行う場合は、事前にNACCS掲示板でご案内させていただきます。
2	移行処理に伴うシステム停止時間について	更改専門部会等においては、中年度更改時におけるシステム停止時間について、「第5次NACCSから第6次NACCSへの更改時と同程度の移行時間を想定しており、最大5時間程度とすることを目標とする。」としておりますが、港湾サブシステムの統合、貿易管理サブシステムの統合(2020年予定)等の結果、移行対象データが大幅に増大するため、場合によっては、第6次NACCS更改時の5時間よりシステムの停止時間を長く確保させて頂く可能性があります。
3	更改時期について	中年度更改の実施時期については、2021年10月を予定していますが、同年10月1日は平日(金曜日)となるため、円滑かつ確実な更改作業を実施するため、2021年9月の3連休(18日~20日)又は10月の3連休(9日~11日)のいずれかを候補として検討をしています。当該検討にあたっては、NACCSと接続している関係システムとの調整、経費的な問題等を課題としながら、今後、更改日時を決定したいと考えています。

■ 第6次NACCS更改時における移行処理は、以下のイメージで実施いたしました。第6次NACCS更改では、港湾サブシステムを統合するため、同システムを更改日前日の18時に停止し、データ移行を先行実施し、NACCS本体については23:15~05:00にかけてシステムを停止しデータ移行を実施しました。

第6次NACCS更改時の移行イメージ

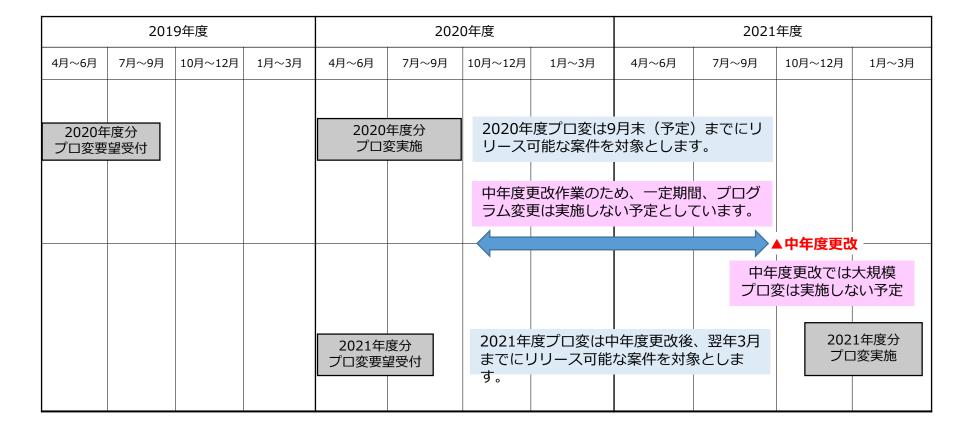


■ 中年度更改においては、港湾サブシステムのNACCS統合、また、2020年には貿易管理サブシステムを統合する予定であり、移行対象となるデータ量が大幅に増加することが予想されるため、第6次NACCS更改時よりもデータ移行に長時間要する可能性がありま

す。

	中年度更改日前日										中年月	度更改日			
16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6	7
				貿易管理S 一夕量増加		現	I N	IACCS	旧ハード デー⁄	ウェア→: タ移行作i	新ハード 業	+	RNACCS		

- 中年度更改作業に伴い、2020年度及び2021年度におけるプログラム変更については、下記のとおり対応することを予定しています。 ただし、法改正等に伴う改変、緊急を要する案件が生じた場合は、例外的に対応することといたします。
- 中年度更改のタイミングにおいては、原則として接続試験を必要とするようなプログラム変更は実施しない方向で検討したいと思います。



■中年度更改に向けて、今後予定されるスケジュールは以下のとおりとなります。

	2018年度					2019	9年度			2020)年度		2021年度			
4月~6月	7月~9月	10月~	·12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
	課題検討(接続試験方法、移行方法、更改日時 等) ※更改日時が確定した段階で早期に公表予定															
		_							新シ	ステ	ム の 開	· 発			│ ▲中年度更	改
											▲接続試	験説明会 接	続試験			
														▲移行討 (必要力	 記明会 	

注:中年度更改においては、前記のとおり大規模プロ変を実施する予定はありませんが、仮に実施する必要が生じた場合には、別途、 利用者の皆様に対する説明会を開催することも考えられます。

3 NACCS回線の見直しについて

NACCS回線の見直しについて

第6次NACCSでご利用いただいている民間利用者用ネットワークの種別及び回線利用料については、第6次NACCS更改前の各種説明会においてご案内のとおり、メタル回線(64K及び128K)については段階的に引き上げを行い、光回線(1M、3M、5M、10M)については、段階的に引き下げを行うことを予定しています(24ページ参照)。この背景には、回線提供ベンダーにおいて、メタル回線を廃止し光回線への切り替えを進めたいとする意向があり、メタル回線を利用する際に発生するチャージ料金の引き上げを行っていることが理由にあります。

このため、弊社においても、メタル回線の利用料金を段階的に引き上げを行いますが、将来的には光回線の利用料金がメタル回線の利用料金を下回る予定にあることから、メタル回線の提供については2022年9月30日をもって終了することといたしましたのでお知らせします。

また、今般、メタル回線から光回線等の他の回線への切り替えを早期に推進することを目的として、①光回線に新たに「0.5M」のメニューを追加、②メタル回線からの切り替え時に必要となる新設工事費用を割引とするキャンペーンの実施、を行う予定といたしましたので、併せてご案内させていただきます。

提供を終了する回線メニュー及びキャンペーンの概要について

1. 提供を終了する回線メニューについて

① 64 Kbps ② 128Kbps 注:2022年 9月30日(新規申込終了予定日 2019年 9月30日)をもって廃止

2. 提供を開始する回線メニューについて

- ① 0.5 Mbps (光回線) 注:2019年10月から提供開始予定 (申込受付は2019年4月から開始予定) ※ 専用線0.5Mプラン (月額 26,000円 (予定))は、従来の64Kbps回線と同等の金額にて光回線が導入可能な新サービスです。
- 3. メタル回線からの推奨切替サービスメニューについて
 - ・専用線 0.5M / 1M / 3M / 5M / 10M 、または ブロードバンド回線(BB光回線)
- 4. 回線切替えに伴う新設工事費用キャンペーンについて
 - ・メタル回線から推奨切替サービスメニューへの回線切替えに伴う工事費用に関する割引きキャンペーンを2019年春より受付します。
 - ※詳細は、2019年1月以降にNACCS掲示板にてご案内します。



【期間限定!】光回線切替えキャンペーンのお知らせ

日頃より弊社NACCSをご愛顧いただき、ありがとうございます。

64・128Kbps回線メニューのサービス終了に伴い、2019年10月から光回線メニューに速度0.5Mbpsを 追加いたします! (回線使用料 月額26,000円 (予定))

- ◆ 従来の専用線 64Kbpsと同程度の月額料金で、より高速な光回線(0.5Mbps)をご利用可能!
- ◆ キャンペーン期間中に増速をお申込みいただいた方には、増速に伴う工事費用98,000円割引!
- ◆ 利用中のプラン見直しで回線使用料のコストダウンになるケースも!

キャンペーン特別受付期間に光回線に切替えた場合…

◆ 切替えに伴う 回線工事費用 最大 98,000 円 を割引いたします!

<キャンペーン申込受付期間> 第一期 2019年 春(同年10月より順次開通)

第二期 2019年 秋(翌年4月より順次開通)

※申込み方法等の詳細につきましては、2019年1月以降NACCS掲示板にてご案内いたします。

◆ 新メニューへの切替えにより3年間で最大37万円お得に!

① 149万円 (ルーター使用料含む)

②112万円 (ルーター使用料含む) 【算出期間】 2019.10-2022.9 (36か月)

①サービス終了 (2022.9) まで128Kbpsを継続した場合 ②2019.10より0.5Mbpsに切替えた場合

キャンペーン内容につきましては次頁をご参照ください。

別紙 光回線切替えキャンペーンについて

1. キャンペーン対象となる回線サービスメニュー※1

64 Kbps128 Kbps

専用線(光) (0.5M^{※2}/1M/3M/5M/10M)

BB光回線

- ※1 常時、専用線又はBB光回線への変更申込みは受付けていますが、キャンペーン受付期間外に申込みいただいた場合は、キャンペーン対象外となります。
- ※2 専用線0.5Mは、 2019.10からご利用可能なサービスとなっており、従来の64kbpsと同程度の月額料金(予定)で光回線を導入することが出来ます。

<u>2. キャンペーンのスケジュール(予定)</u>

2019年春 第一期 キャンペーン申込み特別期間(同年10月より順次開通)

2019年 秋 第二期 キャンペーン申込み特別期間(翌年4月より順次開通)

2022.9.30 64・128kbps回線サービス提供終了(2019.9.30をもって当該回線の新規受付は終了致します。)

■ スケジュール・申し込み方法等の詳細は、今後2019年1月以降にNACCS掲示板にてご案内します。

3. 割引となる工事費について

・回線工事費「ネットワーク加入料」 最大 98,000円 (1回線あたり)※ 新設工事を平日夜間又は休日に実施する場合、差額分費用はお客様負担となります。

4. ご留意事項

【キャンペーンについて】

- ・お客様のご都合により、申込み特別期間内にお申込みができなかった場合、上記回線工事費割引の対象外となります。
- ・各期ともに予定受付可能数に達し次第、受付を終了します。申込み特別期間中は、お申込みが混み合うことが予想されますので、余裕をもってお申し込みください。
- ・切替先の回線サービスのご利用開始は、お申込み受付け順に2019.10より順次開始となります。(第二期は2020.4より順次開始) ただし、工事の関係上、開通までにお時間(最大6ヶ月)を要する可能性がございます。
- ・切替先の回線料金の適用基準は開诵日(利用開始日)からとなります。(月途中の場合は日割計算となります。)
- ・回線切替に伴う、お客様の敷地・建物内で必要となる付帯工事につきましては、従来通りお客様ご負担となります。

【0.5Mbpsメニューについて】

- ・0.5Mbpsメニューのルーター使用料は1Mbpsと同等の金額(予定)となります。
- ・0.5Mbpsメニューの冗長化オプションメニューはございません。

【切り替えにおける注意点】

- ・専用線0.5~10Mに増速する場合、現在ご利用中のIPアドレス・論理端末名を継続してご利用いただけます。増速切替え日は2時間程度、回線工事のため業務が実施できませんので、ご留意く ださい。
- ・BB光回線へ切替えの場合、現在ご利用中の回線廃止およびBB光回線の新設申込みが必要となります。また、IPアドレス・論理端末名等の変更が発生致しますので、切替え時にお客様自身でパ ソコンの設定変更を行っていただく必要もございますので、ご留意ください。
- ・切替後の回線サービスメニューの最低利用期間は、開通日より1年間です。



【参考】説明会資料抜粋:民間利用者用回線メニュー(回線料金)(予定価格のため変動の可能性有り)

	種	81	単位	~2017.6	2017.7~ 2019.9	2019.10~ 2021.9	2021.10~
	センターに支払うべき費	開					
	○ 回線初期費用						
	ネットワーク加入料						
	64kbps,	予備機なし			88,	000	
	128kbps	予備機あり			135,	000	
		予備機なし	1回線毎			000	
	1Mbps以上	予備機あり			169,	000	
		冗長化		-	270,000		
専	○回線使用料等						
	回線使用料						
用	64kbps の			19,760	20,700	26,000	36,000
	128kbps の			29,760	30,700	36,000	41,000
線	1Mbps の			80,000	36,000	33,800	31,800
	冗長化(B B			-	54,900	52,700	50,700
接	3Mbps の		1回線毎に	140,000	91,000	71,000	51,000
	冗長化(B B		月額	-	109,900	89,900	69,900
続	5Mbps の			180,000	101,000	81,000	61,000
	冗長化(B B	. =/		-	119,900	99,900	79,900
の		場合		260,000	121,000	101,000	81,000
	冗長化(B B	光)		-	139,900	119,900	99,900
場	屋内配線使用料 (冗長化選択時に加		1回線毎に 月額	-	1,000		
合	ルーター使用料(注	2)					
		平日9時~18時保守			;	3,700	
	64Kbps,	24時間365日保守				5,600	
	128Kbps	24時間365日保守/予備機 あり		29,700	11,200		
		平日9時~18時保守	1回線毎に 月額			5,200	
		24時間365日保守				5,800	
	1 Mbps以上	24時間365日保守/予備機 あり		27,100	11,600		
		24時間365日保守/冗長化		-	21,000		
	オプション						
	Ping監視(注5)		1回線毎に 月額	-	2,000		
	回線工事費(移転・	変更等)			実費相	当分	

			種別		単位	~2017.6	2017.7~ 2019.9	2019.10~ 2021.9	2021.10 ~							
		セン	ターに支払うべき費用													
	0	回網	泉初期費用													
		ネッ	ットワーク加入料(注1)													
			ADSL回線 接続の場合	予備機なし 予備機あり				5,000),000								
			光回線接続	予備機なし	1回線毎			3,000								
			の場合	予備機あり				9,000								
	0	回網	泉使用料等													
ブ			回線使用料													
			ADSL回線	平日9時~18時 保守		9,490		10,490								
l K			接続の場合	24時間365日保 守	1回線毎に月	12,490		13,490								
バ			光回線接続	平日9時~18時 保守	額	12,400		13,400								
ンド			の場合	24時間365日保 守		18,900		19,900								
接			屋内配線使用料													
			ADSL回線接続の場合		1回線毎に月	60		0								
続			光回線接続の場合		額		1,	000								
Ø			ルーター使用料(注2、3)												
場			ADSL回線	平日9時~18時 保守			5,200									
合			接続の場合	24時間365日保			5,	800								
			(注4)	守	1回線毎に月		11,600 (
				平日9時~18時 保守	額		5,2	200								
			光回線接続 の場合	24時間365日保			5,8	300								
				守		11,600(予備機あり)										
		回	線工事費(移転・変更等)	等			実費	相当分								

備考:本料金表のH31.10以降で示す利用料金は現時点の予定価格です。

- (注) 1 ネットワーク加入料には、ルーター設置費用を含む。
 - 2 ルーター使用料には保守費を含む。
 - 3 ADSL回線は上り5Mbps、下り47Mbpsタイプを、光回線は100Mbpsベストエフォートである。なお、ADSL回線、光回線はNACCSネットワークに接続するための専用アクセス回線であり、インターネット接続には利用できない。
 - 4 ADSL回線は光BB回線が利用不可の地域に限り、新規受付を行う。
 - 5 冗長化はメインを1~10Mbpsの専用線、バックをBB光回線の構成とする。 また、冗長化を選択した場合には、Ping監視が無料で提供される。



4 大型連休に伴うデータ保存期間の対応について

大型連体に伴うデータ保存期間の対応について

1.2019年大型連休に向けた対応

NACCSの輸入申告事項登録等のデータ保存期間は日曜・祝日を含まない日数となっており、例年のGWであれば下記①のようになりますが、2019年のGWは10連休となる予定です。その場合のデータ保存期間は下記②のようになり、データを保存する期間が長期化することとなります。そこで、データ保存期間の長期化に対応するためNACCSのデータ保存領域の拡張作業を実施します。

(例) 保存期間が業務を実施した日から起算して10日間(日曜・祝日を含まない) の場合

<① 5月1日が平日の場合>

輸出申告事項登録(EDA) 輸入申告事項登録(IDA)等

<凡例>

〇:業務実施日

△:データ保存期間

		04月										C)5月								
26	27	28	29	30	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
0															Δ	+					
	0																Δ				
		0																Δ			

— データの保存期間は<u>16日</u>

<② 5月1日が祝日の場合>

		04月			05月																
26	27	28	29	30	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	±	日	月	火	水	木	金
0																			Δ	←	_
	0																			Δ	
		0																			Δ

2. データ保存領域の拡張に伴う臨時保守日の設定

前記1.の拡張作業は、3回の保守日を利用して段階的に実施します。このため、来年2月に臨時保守日を設け対応させていただきますので、ご理解、ご協力をお願い致します。

拡張作業実施日:2018年11月18日(日)(定期)、2019年1月20日(日)(定期)、2月17日(日)(臨時)

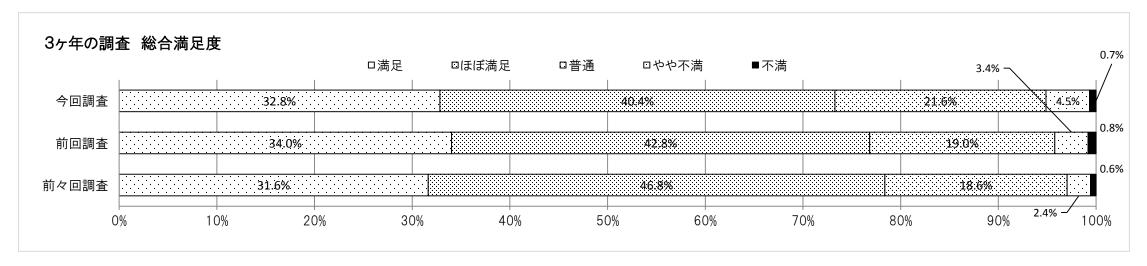
5 ヘルプデスクの満足度調査結果について

ヘルプデスクの満足度調査結果について

ヘルプデスク顧客満足度調査結果(平成30年7月~8月実施)

1. 総合満足度

インターネット上のアンケート調査でご回答いただいたお客様から、約32.8%の「満足」、 約40.4%の「ほぼ満足」の評価をいただき、総合満足度は合計73.3%(四捨五入)となりました。(前回比▲3.5%) 一方、約5.1%の方から「やや不満」・「不満」との評価をいただきました(前回比+1%)。



2. お客様のご意見やお褒めのお言葉(抜粋)

- ・対応が丁寧・親切である。
 - (前回165件⇒今回123件)
- ・簡単な内容でも丁寧に対応してくれる。(ご満足理由の32.3%)
- 説明が不十分でも理解してくれる。 (ご満足理由の26.3%)
- ・担当者によって質問の理解度が低い。 (前回15件⇒今回17件)
- ・オペレーターによって質問の理解度にばらつきがある。

(ご不満理由の35.9%)

・即答でなく、カケ直しの回答となった。(ご不満理由の29.1%)

3.改善への取組み状況について

ヘルプデスクでは、オペレータの業務知識向上を図り、回答時間短縮・正確な回答への継続的な取り組みや、業種別の「理解度」「正確さ」「分かり易さ」に着目した教育・研修の実施など、「お客様の声」に基づいた施策を行うことで、総合満足度の向上を目指しています。

【満足度向上施策】

- ▶ 受付オペレータの応対品質の向上
- ▶ 受付オペレータの知識・技量の向上
- ▶ 掲示板・FAQ等お客様への提供情報の更なる充実

4. お客様の求める品質:「早く、正しく、親切に」をめざして!

今後も、より多くのお客様から、「ありがとう。たすかりました。」と感謝のお言葉をいただけるよう、サービスの向上に努めてまいります。

お気づきの点がございましたら、お客様サポート課までご一報ください。

来年もお客様満足度調査を実施する予定をしております。 皆様のご協力をよろしくお願いいたします。(実施期間未定)



6 Windows7サポート終了に伴う対応について

マイクロソフト社は、2020年1月14日にWindows7のサポートを終了します。

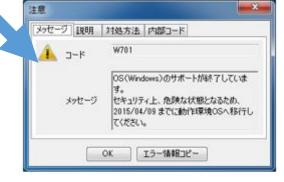
これに伴い、NACCSセンターとして十分なセキュリティの確保の観点から、NACCSパッケージソフト操作説明書「2.動作環境 2.2動作確認環境」からWindows7を削除する予定です。

Windows7によるNACCSパッケージソフトの起動ができなくなります。

Windows7のサポート終了に合わせ2020年1月14日から、NACCSパッケージソフトの起動ができなくなる仕様変更を行います。サポート期限を超えた日以降に、パッケージソフトを起動した場合は、エラーメッセージ画面が出力され、パッケージソフトの起動ができなくなります。結果、NACCSへ接続できなくなり、業務を実施することが出来ません。

エラーメッセージが出力された際は、システム管理者に相談の上、後継OSへのアップグレードをお願いします。
※エラーメッセージ画面参照(イメージ)





※画面は、エラーメッセージのイメージとなりますので メッセージ内容等が一部異なる場合がございます。



お手数ですが、十分な移行期間をもって最新環境に移行するようご協力ください。

今後、Windows7をご利用のお客様おかれましては、危険性の回避対策として後継OSへのアップグレードをお願いします。

なお、ご利用のNACCSパッケージソフトがインストールされているPCを最新環境へ移行する際は、受信電文のバックアップ等を行うなど十分に準備をして、移行されることをお勧めいたします。

【参考 NACCSパッケージソフトの操作手順】

- ○NACCSパッケージソフトの動作環境 https://bbs.naccscenter.com/naccs/dfw/web/use/ps/requirements.html
- Microsoft ご存じですか? OS にはサポート期限があります! https://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/article/windows10-portal/eos.aspx

7 リアルタイム口座振替サービスの休止について

MPNセンタ更改に伴うリアルタイム口座振替サービスの休止について

MPNセンタ更改に伴い、以下の期間については全金融機関におきまして、リアルタイム口座振替サービス及びマルチペイメントネットワークを利用した関税等納付(MPN納付)サービスがご利用いただけません。以下のサービス休止期間の納付方法につきましては、直納による納付をお願い致します。なお、直納による納付にあたっては、あらかじめ金融機関へ詳細をご確認ください。

【サービス休止期間】

平成31年1月1日(祝)20:15~1月3日(木)0:20

【対象金融機関】

全金融機関

